

白ハト食品工業株式会社

大阪府守口市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

「芝居浄瑠璃、いもたこなんきん」を通して、「お客様の小さな幸せに何度も何度も役立ち続けていきたい」がモットー

- 地場 JA と連携して、2015 年に国内唯一のさつまいもの観光農業体験施設をオープン
- 第 6 次産業に、観光、教育、IT、地域貢献、子育て、交流を加えた第 12 次産業を目指す
- 「日本の農業をステキにしよう！」を合言葉に、農業の担い手作りにも取り組む

企業基本情報

所在地	大阪府守口市京阪本通 1 丁目 4-10
電話/FAX	06-6997-0151/06-6997-0118
URL	https://www.shirohato.com/
代表者	代表取締役社長 永尾 俊一
設立	1947 年
資本金	4,500 万円
従業員数	976 人



会社概要

1947 年創業の菓子製造販売業者。江戸時代の川柳「芝居浄瑠璃、いも・たこ・なんきん」にあやかり、素材にこだわった商品づくりに加え、芝居浄瑠璃のエッセンスから、キッチン「ライブ」感や人の「エンターテインメント性」も大切にしている。現在は、おいもスイーツ「らぼっぼ」、たこ焼き店「たこ家道頓堀くる」等を全国に約 100 店舗、上海に 7 店舗展開している。2015 年には観光農業体験施設「なめがたファーマーズヴィレッジ」もオープンさせている。



従業員一同

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

廃校や耕作放棄地を利用して施設を整備し、地場 JA と連携

グループ全体の取組として、茨城県行方市に「さつまいも」をテーマとした観光農業体験施設「なめがたファーマーズヴィレッジ」を 2015 年 10 月にオープン。同施設は、廃校となった小学校と耕作放棄地を利用して整備し、JA・農家・同社が計 3 億円を出資して設立した農業生産法人（株）なめがたしろはたファームが運営している。同施設のメインとなる工場棟では、地場の茨城県産サツマイモを中心に加工品を製造するなど、地域資源を活用している。



なめがたファーマーズヴィレッジ
(小学校廃校跡地利用)

第 6 次産業から第 12 次産業へ

グループ全体で、「素材を育む農業」（第 1 次産業）、「商品をつくる製造」（第 2 次産業）、「お客様への販売」（第 3 次産業）まで行う第 6 次産業に、「観光」、「教育」、「IT（農業）」、「地域貢献（障害者雇用）」、「子育て」、「交流」の 6 つを加えた、第 12 次産業を目指している。また、「地域と一緒に作る」、「生産者～加工者～販売者～消費者をつなげていく」等、持続可能なプロジェクトも目指している。



第 12 次産業を目指す

新 3K 農業により、若手農業従事者育成や雇用創出を実現

グループでの農業参入 10 年以上の経験を活かし、いままでのいわゆる「きたない、くらい、かっこ悪い」の 3K 農業から、新 3K「キレイ、気持ちいい、かっこいい」農業を目指し、女性が就農できる環境作り、新しい農業の担い手作りを進めている。この結果、「安心・安全・高品質さつまいも原料の安定供給」や「若手農業従事者の育成」を実現する他、「なめがたファーマーズヴィレッジ」では地元で 150 名を採用するなど、地元の雇用創出にも貢献している。



若手農業従事者の育成